

平成26年度私立大学情報環境調査

平成26年12月1日

公益社団法人 私立大学情報教育協会

本協会では、私立大学が教育活動の基盤環境として備えるべき情報環境の整備充実を促進するため、情報環境の整備状況及び将来計画について振り返り、改善に向けて取り組むべき課題を整理・認識する調査を3年間隔で実施しています。とりわけ今回の調査では、教育の質的転換及び全学的教学マネジメントの観点から情報環境の内容及び利活用を自己点検・評価することで、望ましい教育・学修環境づくりを目指した改善に取り組んでいただくことが可能になると考えております。

集計・分析結果は、「平成26年度私立大学情報環境白書」として平成27年5月の総会で報告するとともに、大学及び文部科学省、関係機関に情報環境の整備充実に向けて理解の促進を働きかけます。

お手数を煩わせ誠に恐縮ですが、全学的な立場で関係部署とお打ち合わせいただき、平成27年1月15日迄に回答いただきますようお願い申し上げます。

※1 本調査は、大学・短期大学の負担を軽減するため、本協会のWebサイトからオンラインで回答いただくことにしております。サイトへの接続にはパスワードが必要です。詳しくは、平成26年12月1日付で郵送の「平成26年度私立大学情報環境調査への協力お願い」をご覧ください。

※2 調査項目の「現状」又は「現在」とは平成26年度のことです。また、「3年後」とは平成29年度のことです。

大学名	
回答とりまとめ部局名	
回答とりまとめ担当者名	
連絡先	(電話番号)
	(FAX番号)
	(e-mail)

I. 全学的な教学マネジメントに向けた情報通信技術(ICT)利活用の点検

1. 全学的に教育課程の体系性を可視化するICTの利活用

「学位授与方針」と「教育課程編成・実施の方針」を明示して教職員、学生に理解の促進を図るICTの利活用について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

① 履修系統図(カリキュラムマップ、カリキュラムチャート等)のWeb掲載による可視化

② ナンバリングのWeb掲載による可視化

* ここでのナンバリングとは学生がレベルや専門を勘案して授業科目を履修できるように、授業科目に番号を付して学修の段階や順序等を表すことを指します。

③ 学生の履修計画を支援するシミュレーション

④ ①から③以外の利活用 ()

⑤ 可視化にICTを利活用していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①～④に回答の場合、可視化するためにICTをどのように利活用しているのか、その内容を記入して下さい。

--

2. 教育活動に関する危機意識を学内で共有する情報の掲載

教育活動に対する危機意識を教職員が共有するために学内向けのWebサイトに掲載している内容について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

① 定員の充足率 ② 中退率 ③ 修業年限で卒業する学生の割合 ④ 卒業生に対する社会等からの評価

⑤ 学士力の達成状況 ⑥ 授業評価アンケート結果の解析と改善策

⑦ ①から⑥以外の内容 ()

⑧ 危機意識を共有する情報を掲載していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

3. 教員の授業や学修指導を自己点検・評価するeポートフォリオ（ティーチング・ポートフォリオ）の導入

教員の授業や学修指導を自己点検・評価するために実施しているeポートフォリオの導入について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で導入している ② 一部の学部又は学科で導入している ③ 導入を計画又は検討中
④ 導入していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

4. ICT を利活用した教員相互によるシラバス点検への取組み

教員相互によるシラバスの点検に ICT を利活用している取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で相互点検に ICT を利活用している ② 一部の学部又は学科で相互点検に ICT を利活用している
③ 相互点検に ICT の利活用を計画又は検討中
④ ICT を利活用した相互点検は行っていない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成 26 年度で①、②に回答の場合、相互点検に ICT を利活用している内容を以下に記入して下さい。

--

II. 教育の質的転換を目指した教育・学修支援環境の点検

1. 学修支援システム（LMS）の導入

* ここでの学修支援システム(LMS)とは、教材の蓄積・管理、配信や学修履歴、小テスト等を統合的に管理するもので、教員と学生、学生相互のコミュニケーションを行う機能などを備えたものを指します。

(1) 学修支援システムの導入状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で導入している ② 一部の学部又は学科で導入している
③ 導入を計画又は検討中 ④ 導入していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

(2) 学修支援システムを利活用している内容について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

- ① 事前・事後学修 ② シラバスの提示 ③ 学修課題の提示 ④ レポートの提出
⑤ 教材・資料の提示 ⑥ 学修指導の助言・評価 ⑦ eポートフォリオの管理
⑧ グループ学修等での意見交換・発表・相互評価 ⑨ 授業評価アンケートの収集・分析・公表
⑩ 事前・事後学修時間の把握 ⑪ 出欠管理 ⑫ その他 ()

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

2. eラーニングの実施

* ここでのeラーニングとは、学生が理解度に応じて学修を進め、自己診断を行い、その結果について教員の指導を適時受ける学びのスタイルで、学修支援システム（LMS）等を用いた教育を指します。

(1) eラーニングの実施状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 一部の科目で実施している
④ 取組みを計画又は検討中 ⑤ 実施していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成 26 年度で①、②に回答の場合、eラーニングの効果と課題などについて記入して下さい。

--

(2) eラーニングと対面学修を組み合わせた反転授業の実施状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。
* ここでの反転授業とは、あらかじめ授業を映像などで受講した後に、対面式の授業でディスカッションなどを行う授業形態を指します。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 一部の科目で実施している
④ 取組みを計画又は検討中 ⑤ 実施していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成 26 年度で①～③に回答の場合、反転授業を実施している科目名、効果と課題などについて記入して下さい。

--

3. クリッカー等による理解度把握の実施

クリッカー等による理解度把握の実施状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 一部の科目で実施している
④ 取組みを計画又は検討中 ⑤ 実施していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成 26 年度で①、②に回答の場合、クリッカー等の導入効果と課題などについて記入して下さい。

--

4. 多機能携帯端末を用いた授業への取組み

* ここでの多機能携帯端末とは、スマートフォンやタブレット端末などを指します。

多機能携帯端末を用いた授業への取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 一部の科目で実施している
④ 取組みを計画又は検討中 ⑤ 実施していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成 26 年度で①～③に回答の場合、授業での多機能携帯端末の導入効果と課題などについて記入して下さい。

--

5. 学生の学修活動をサポートするeポートフォリオ(学修ポートフォリオ)の導入

* ここでのeポートフォリオとは、Web上で学生が学びや気づきを記録し、蓄積した履歴を振り返りすることで到達度の確認を行い、教職員がその達成度を確認する中で学修状況に応じた指導・助言が可能なものを指します。

eポートフォリオの導入状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で導入している ② 一部の学部又は学科で導入している ③ 一部の科目で導入している
④ 導入を計画又は検討中 ⑤ 導入していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成 26 年度で①～③に回答の場合、eポートフォリオを実施している規模、代表的な実施事例及び導入の効果、課題などを記入して下さい。

--

6. 学生カルテの導入

* ここでの学生カルテとは、学生一人ひとりの生活指導、学修指導、キャリア形成指導を行うために教職員によるきめ細かな助言を提供するものを指します。

学生カルテの導入状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で導入している ② 一部の学部又は学科で導入している ③ 導入を計画又は検討中
④ 導入していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成 26 年度で①、②に回答の場合、学生カルテ導入の事例及び課題、効果などを記入して下さい。

--

7. ICT を利活用した地域社会や産業界との大学連携、国内外大学との連携

ICT を利活用した地域社会や産業界との大学連携、国内外大学との連携への取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成26年度で①、②に回答の場合、ICT を利活用している事例及び効果、課題を記入して下さい。

--

8. コンテンツ・アーカイブ化の整備

(1) 学内 LAN 上で教職員、学生がデジタルコンテンツを利用できるよう組織的に一元管理している状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で整備している ② 一部の学部又は学科で整備している ③ 取組みを計画又は検討中 ④ 整備していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①、②に回答の場合、アーカイブ化に伴う仕組み及び効果、課題などを記入して下さい。

--

(2) 教育コンテンツのアーカイブ化の内容について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

- ① シラバス (事前・事後学修方法の明示を含む) ② 教材・資料、試験・練習問題 ③ アクティブ・ラーニングに関する学内外の情報 ④ 学修成果 (ポートフォリオ等を含む) ⑤ 授業アンケート結果 ⑥ 映像資料 (授業録画を含む) ⑦ その他 ()

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

9. 大規模公開オンライン講座 (MOOC 等) の利用・配信

(1) 大規模公開オンライン講座の利用状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で利用している ② 一部の学部又は学科で利用している ③ 一部の科目で利用している ④ 利用を計画又は検討中 ⑤ 利用していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①～④に回答の場合、利用又は利用予定のMOOC等の名称、利用講座、授業に導入している科目名、受講学生数などについて記入して下さい。

--

(2) 大規模公開オンライン講座への講義配信の状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 配信している ② 配信を計画又は検討中 ③ 配信していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①、②に回答の場合、配信又は配信予定のMOOC等の名称、講座名、実施時期などについて記入して下さい。

--

10. 教育・学修支援体制の構築状況と支援内容

(1) 教育・学修支援体制の構築状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 構築している ② 構築を計画又は検討中 ③ 構築していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①に回答の場合、以下の(2)～(4)に回答して下さい。

(2) 支援体制(組織)の名称を記入して下さい。「〇〇大学教育支援センター」、「教育支援室」等の名称を記入
名称記入欄

--

(3) 支援組織の構成を回答して下さい。

- * TA : 大学院生等のティーチング・アシスタント * SA : 学部生等のスチューデント・アシスタント

教員 (担当教員数)	職員 (担当職員数)	TA・SA (支援担当者数)	外部人員 (アルバイト、派遣等)
名	名	名	名

(4) 主に ICT を利活用して教育・学修を支援している状況について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

教育・学修支援の内容	選択肢	平成26年度	平成29年度
① シラバスのWeb化支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
② 学修支援(事前・事後学修、LMS活用の相談・助言含む)	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
③ eポートフォリオ、学生カルテの利活用支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
④ 教材作成支援(eラーニング教材含む)	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑤ Webサイト構築の支援(教材等のコンテンツ掲載・サイト開設含む)	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑥ 授業の設計・評価支援(アクティブ・ラーニングなどの相談・助言含む)	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑦ 教員の情報技術支援(携帯端末、クワッカ、反転授業含む)	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑧ 授業録画、教育コンテンツ等のアーカイブ化支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑨ 授業アンケートの支援(収集・集計等)	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑩ 教育関連ソフトの利活用支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑪ 産業界・地域社会との連携支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑫ FD研究会の支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑬ 教育情報の公表支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
⑭ IR(意思決定の判断資料となる大学機関調査)の支援	①支援している ②計画又は検討中 ③支援していない		
①から⑭以外は右欄に記入して下さい		26年度	
		29年度	

11. アクティブ・ラーニングを支援するファシリテータの導入

アクティブ・ラーニングをTAやSA等のファシリテータが支援する体制について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で導入している ② 一部の学部又は学科で導入している ③ 導入を計画又は検討中
④ 導入していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成26年度で①に回答の場合、ファシリテータの支援内容・方法、研修方法、雇用制度などについて記入して下さい。

--

III. FD 支援の点検

1. ICT を用いた教育改善計画の作成・提出を促進する取組み

教員の教育改善意欲を喚起するため、ICTを用いて教員全員に授業の改善計画等を毎年促進する取組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部・学科で実施している ③ 取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成26年度で①、②に回答の場合、取組みの事例及び効果などについて記入して下さい。

--

2. アクティブ・ラーニングを推進・普及するための取組み

* ここでのアクティブ・ラーニングとは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、能動的な学修を取り入れた教授・学修法を指します。発見学修・問題解決学修、体験学修、調査学修等が含まれますが、教室内でグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も効果的なアクティブ・ラーニングの方法です。

(1) アクティブ・ラーニングを推進・普及するためのWebサイトの構築について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

(2) アクティブ・ラーニングを普及するための研修について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

3. eポートフォリオ(学修ポートフォリオ)の利活用に関する研修

eポートフォリオの利活用に関する研修について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で実施している ② 一部の学部又は学科で実施している ③ 取組みを計画又は検討中
④ 実施していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

4. FD支援体制の構築状況と支援内容

FD支援体制の構築状況について、現状と3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 構築している ② 構築を計画又は検討中 ③ 構築していない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①に回答の場合、組織の名称、支援内容、課題などを記入して下さい。

--

IV. 情報環境として備えるべき施設・設備、セキュリティの点検

1. 学内LAN整備の課題

今後学内LANを整備する上での課題について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

- ① 無線LAN環境の拡充 ② 学内LANの高速化 ③ 教室のマルチメディア化対応
④ セキュリティ対策 ⑤ クラウド化対応
⑥ その他()

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

2. ネットワーク高速化への対応

ネットワークの高速化について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

区分	選択肢(学内ネットワークの速度)	平成26年度	平成29年度
幹線	① ~100Mbps ② 101~600Mbps ③ 601M~1Gbps ④ 1.1Gbps~10Gbps ⑤ 10Gbps以上		
支線	① ~100Mbps ② 101~600Mbps ③ 601M~1Gbps ④ 1.1Gbps~10Gbps ⑤ 10Gbps以上		
学外接続	① ~100Mbps ② 101~600Mbps ③ 601M~1Gbps ④ 1.1Gbps~10Gbps ⑤ 10Gbps以上		

3. コンピュータ等の整備

教育・研究用コンピュータ及び多機能携帯端末の整備について、現状及び3年後の計画を記入して下さい。

* 大学が学生に貸し出している台数も含めて記入して下さい。 * 研究専用の台数は含めないで下さい。

区 分	教育・研究用							
	平成26年度			平成29年度				
全学のコンピュータ、多機能携帯端末等の整備台数	サーバ	台	学生1人当りの台数	台	台	学生1人当りの台数	台	
	パソコン	台	学生1人当りの台数	台	台	学生1人当りの台数	台	
	多機能携帯端末	台	学生1人当りの台数	台	台	学生1人当りの台数	台	
屋間部の学生数	平成26年度屋間部学生数			人	平成29年度屋間部学生数			人

4. 教育・研究への学外クラウドの利用

(1) 教育・研究への学外クラウドの利用について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 全学で利用している ② 一部の学部・学科で利用している ③ 一部の科目で利用している
④ 利用を計画又は検討中 ⑤ 利用していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

(2) (1) の①、②に回答の場合、学外クラウドを利用している目的を選び回答して下さい。(複数回答可)

- ① 情報環境コストの削減 ② 災害時などにおける業務継続性対策 ③ 大学の人的負担の軽減
④ 大学間の連携による教育機能の高度化 ⑤ セキュリティの確保 ⑥ 情報環境の利便性向上
⑦ 電子メール ⑧ その他 ()

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記で(2)に回答した内容の詳細及び期待される効果、今後の課題等を記入して下さい。

--

5. 教室のマルチメディア化

* ここでのマルチメディア化とは、ネットワーク接続を前提に授業用コンテンツ(資料、音声、映像)の利用が可能な設備・装置が整備されていることを指します。

(1) 教室のマルチメディア化について、現状及び3年後の計画を記入して下さい。

- ① 大学の全教室数を回答して下さい。(実習室、ゼミ室、コンピュータ教室等を含む)

平成 26 年度 室 平成 29 年度 室

- ② 上記の内、マルチメディア化された教室の数を回答して下さい。

平成 26 年度 室 平成 29 年度 室

- ③ 上記②の内、授業録画機能のある教室の数を回答して下さい。

平成 26 年度 室 平成 29 年度 室

(2) 教室のマルチメディア化で実現したい機能について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

- ① 授業用コンテンツの共有 ② 授業の自動録画化 ③ 学外と連携した遠隔授業
④ デジタル教材の開発 ⑤ 反転授業等での利用
⑥ その他 ()

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

6. ラーニング・コモンズと情報環境の整備

* ここでのラーニング・コモンズとは、学生の自学自修を支援するために、複数の学生が多様な情報資源を活用して議論を進めていく「学びの場」を指します。

(1) ラーニング・コモンズの整備について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 整備している ② 整備を計画又は検討中 ③ 整備していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

※ 上記の平成 26 年度で①の場合、人員体制、利用可能時間、利用条件、利活用を促進するための課題等を記入して下さい。

--

(2) 上記で①に回答の場合、ICT 環境として整備しているものを回答して下さい。(複数回答可)

- ① パソコンやプリンター ② 多機能携帯端末 ③ 電子黒板 ④ 録画・編集機器
⑤ 有線・無線 LAN ⑥ クリッカー ⑦ プロジェクター等の AV 機器 ⑧ デジタルペーパー
⑨ その他 ()

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

7. 情報セキュリティに対する関心度

(1) 情報セキュリティの問題は社会・経済全体にも波及する可能性があり、大学執行部で取組むことが極めて重要です。

大学の現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 重要な問題と認識し、経営執行部(役員)が関与している ② 経営執行部の関与を大学として計画又は検討中
③ 情報セキュリティに経営執行部は関与していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

V. 大学機関としての活動を調査・分析し、改善提案する IR (インスティテューショナル・リサーチ) 取組みの点検

1. 教育活動及び経営活動の実態を整理・統合・分析する IR システムの導入

(1) IR システムの導入について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 導入している ② 一部導入している ③ 計画又は検討中 ④ 導入していない

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

(2) 上記 (1) で①～③に回答の場合、教育の IR 活動として該当すると思われる内容について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

- ① 履修・成績状況の把握 ② 学修行動状況の把握 (事前・事後の学修時間を含む)
 ③ 学修成果の検証と質保証の確認 ④ 授業評価結果に対する改善策
 ⑤ 学修ポートフォリオの活用 (教育プログラムの効果判定を含む) ⑥ 授業科目数の調整・統合
 ⑦ FD・SD の点検と改善 ⑧ 高大連携の政策 ⑨ 卒業生・社会からの評価
 ⑩ 地域社会、産業界との教育連携戦略 ⑪ 入学者選抜の政策 ⑫ 教育情報公表の戦略
 ⑬ その他 ()

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

(3) 上記 (1) で①～③に回答の場合、経営の IR 活動として該当すると思われる内容について、現状及び3年後の計画を選び回答して下さい。(複数回答可)

- ① 教育活動の中・長期戦略 ② 人的・物的・資金活用の最適化政策 ③ 社会人学生、留学生の募集政策
 ④ 地域社会・産業界との連携・協力戦略 ⑤ 社会からの寄付を拡大化するための戦略
 ⑥ 国の財政援助活用戦略 ⑦ 校友会組織の拡充政策 ⑧ 大学施設の有効活用対策
 ⑨ 大学活動の情報発信政策 ⑩ 国際交流の推進政策 ⑪ 大学の認証評価対策
 ⑫ その他 ()

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

2. IR 組織の体制と課題

IR システムを導入している場合、以下の設問に回答して下さい。

(1) IR 組織の名称

(2) IR 組織の設置形態について、一つ選び回答して下さい。

- ① 新規に独立組織を設置 ② 既存部門の中に専門組織として設置 ③ 委員会組織として設置
 ④ その他 ()

平成 26 年度		平成 29 年度	
----------	--	----------	--

(3) 設置年度 平成 年度

(4) 担当者の人員構成

教員 (担当教員数)	職員 (担当職員数)	その他
名	名	名
(内)アナリスト 名	(内)アナリスト 名	(内)アナリスト 名

(5) IR 組織の構成員に必要な職務能力及び人材の確保や養成などについて記入して下さい。

(6) IR 組織が果たす役割と意思決定反映の効果等について記入して下さい。

(7) IR のために学内データを統合管理するデータベースシステム構築の仕組みと課題について記入して下さい。

VI. 教育情報公表に関する可視化の点検

1. 外部に分かりやすい教育情報公表の工夫

(1) 教育情報はWeb上で外部から分かりやすく簡単に閲覧できることが望まれます。教育情報掲載の方法について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① トップページに「教育情報の公表」として掲載している
- ② トップページ「関連情報」の中に掲載している
- ③ トップページには掲載していないが、大学のWebサイト内に掲載している
- ④ その他 ()

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

(2) 教育情報公表方法の改善について、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 情報公表の内容を分かりやすくする改善を検討している (例えば、表現をわかりやすくする、映像・音声の利用等)
- ② 情報公表がトップページからすぐに見られる改善を検討している (例えば、3クリックで全情報が見られる等)
- ③ 他大学の公表状況をみて改善を考える
- ④ 特に改善は考えていない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①、②に回答の場合、改善を検討している内容について具体的に記入して下さい。

--

2. 外部からの質問・意見への対応

公表された教育情報に対して外部からの質問、意見にICT等を用いた意見交流の仕組みが望まれます。現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 意見交流できる仕組みがある
- ② 取組みを計画又は検討中
- ③ 意見交流する仕組みがない
- ④ 意見交流の仕組みを必要としない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①に回答の場合、具体的な意見交流の取組みについて記入して下さい。

--

3. 教育情報公表の構築体制

教育情報の公表を組織的に取扱う体制や仕組みについて、現状及び3年後の計画を一つ選び回答して下さい。

- ① 体制・仕組みがある
- ② 取組みを計画又は検討中
- ③ 体制・仕組みがない

平成26年度		平成29年度	
--------	--	--------	--

※ 上記の平成26年度で①に回答の場合、具体的な体制・仕組みの内容を記入して下さい。

--

ご協力有難うございました。